明治天皇宸翰

明治九年四月三條公ニ賜ヒシ所也

東方未平人心不定
實ニ不容易形勢ニ付
乍苦労速ニ下向致シ
可加鎮定尤委任候
間徳川旧勲不相
失万民安堵候様可
計候

大正六年十月 従二位勲一等男爵尾崎三良謹識

寫謹夫文武大 谷北日京東

T.Otake.
HIBIYA-PARKTOKYO.

国立国会図書館 尾崎三良関係文書 167

一号

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

明治天皇宸翰　明治二年　賜ヒシ所也

朕牧伯ヲ會同シ治
教ノ本ヲ建セ了ヲ
詢ル然ニ廟堂ハ百萬
幾任用其人ヲ獲ニ
アリ故ニ今謹テ
列祖ノ靈ニ告テ公
選ノ法ヲ設ケ更ニ議
定參與ヲ登庸ス
輔相ハ躬
神靈ニ質シ以テ之ヲ
擧用セリ汝衆ソレ
斯意ヲ體セヨ

大正六年十月　従二位勲一等男爵尾崎三良謹識

東京日比谷　大武文夫謹寫

T.Otake.
HIBIYA-PARKTOKYO.

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

二号

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

明治天皇宸翰　明治二年三條公ニ賜ヒシ所也

修史ハ萬世不朽
ノ大典
祖宗ノ盛舉ナルニ
三代實錄以後
絶テ續ナキハ豈大
闕典ニ非スヤ今ヤ
鎌倉已降武門
專權ノ餘ヲ革
除ニ政務ヲ振興セ
リ故ニ史局ヲ開キ
祖宗ノ芳躅ヲ繼キ
大ニ文教ヲ天下ニ

大正六年十月

從二位勲一等尾崎三良謹識

東京日比谷　大武文夫謹寫

T.Otake.
HIBIYA-PARKTOKYO.

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

三号

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

明治天皇宸翰　明治六年十二月三條公橋場別荘ニ臨幸親ラ賜フ所也

汝實美再三辭表
之趣全ク職掌ニ対シ
至誠ノ衷情ニ出ツ朕之ヲ
容納（ヤリ）然（ト）雖モ方今國
家多事ノ際朕（カ）肱股
一日モ不可缺更ニ汝實親任
汝實美其レ之ヲ勉ヨ

大正六年十月　従二位勲一等男爵尾崎三良謹識

寫謹夫文武大　谷比日京東

T.Otake.
HIBIYA-PARKTOKYO.

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

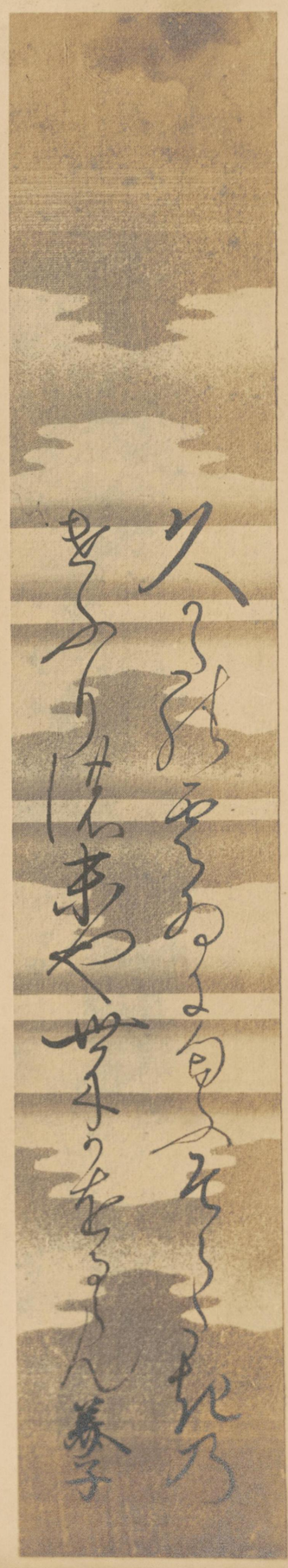
四号

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

御製

皇后宮

明治天皇宸翰



明治十一年三條公ニ賜ヒシ所也

大正六年十月　従二位勲一等尾崎三良書

T.Otake.
HIBIYA-PARKTOKYO.

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

五号

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167

明治天皇宸翰五枚

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167
付属資料

国立国会図書館　尾崎三良関係文書 167
付属資料